

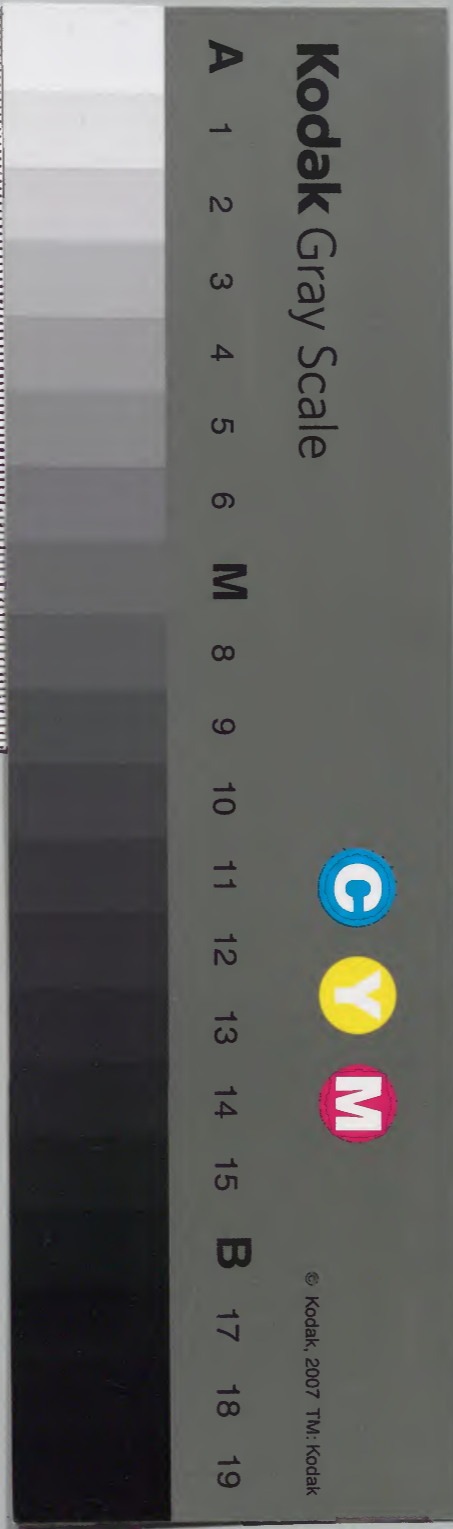
正校  
北窓瑣譚

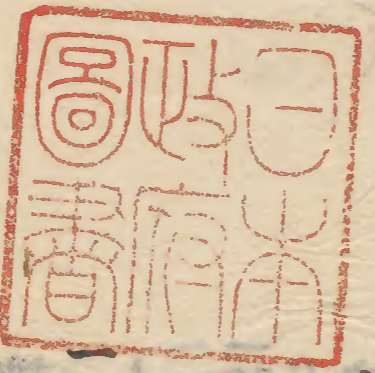
後篇  
三

庫文閣内		
三函	八五二	和書
五架	冊號	類

(七本)

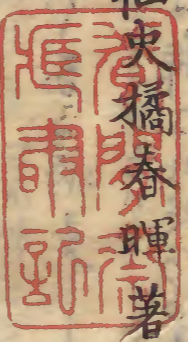
内閣文庫	
番號	和 18852
冊數	8 ( 7 )
函號	213 54





北窓瑣談後編卷之三

淺草文庫



花廼家文庫

山中の人ハ長壽あり海辺の人ハ短命ありもて肉食  
 のふにゆる者ハたよハ燈火をうらもて明くのありと  
 之ども油のとやくするが如し天年をやくうげそ  
 ぞ故小妻あはれとぞ思はる廣く天下の人をえんふ  
 蛮人あはれ皆短命おそく五十むらりて死せるを日本の七ハ  
 十輩あはれ死せる者のどく長妻を得たるとふとぞ  
 一筑前福岡辺少小兒の泻下の病多して救ひうる難症と  
 此龜井道哉これを名づけ暴泻病と云他国小ハなき

一種の病あり慢驚風などハ似然れども此病と云  
そと治しざりしと亀井子かきし

一薩摩ハ初生の兒二三歳頃ハ四五歳の時ハ故無して  
俄ニ啼りけり腹痛のやハ見ゆるハ何の故とも慥ハ知れ

ざりし此病發せれば一昼夜或ハ二三日も啼き止して皆死せり  
あり初生の間ハ啼き止ざれば皆死す必死と定むるハ此症彼

地とありて夢し小兒第一の難症と云々他国ハなまし余はとし  
く考し更らる方をとて飯りぬ其後ハいふ有しや

一肥後邊ハ下賤の人ハ片足ふと腫る柱のどくある病多し  
京都などハあまき病なり西国の生れのを食ふ稀ハ此足らるを

見るとりり此病ハ請經より瘧と疾ハや

一肥後の球璣と云取ハ腹痛をせり多し生涯腹痛を患ふ  
る人余が見し取ハ小數十人けり地氣の志りし一ひるり

あして他国ハなまき更あり東めてハ越中富山ハ亦腹痛  
甚多し志うれども其病因ハをこそ異あるやりに

思はる  
一休ハ小倉の湖古名我巨掠の入江とりり。淡川ハ水をい

ハある湖あり此中ハ一丈ハ余ある大鯉魚二頭住り。此邊  
乃漁者此鯉魚を羽殿と呼け湖中の神靈とて此鯉魚  
て遊りする同々音取敷知られりてをいりりハ綱哉

下一鈎をたきむと余も初ら虚淡ある事と思ひ居る。後  
 小鞆こたね〜まき〜を何りの事哉司る人小鞆〜ふを人も見  
 たりと語りた。け頃ハたえてふ物とす也  
 一芥子かじを画たて於屏風ハ古昔不浄所ふじやうじよ小立こたてに於物たるを  
 ぞ。右に屏風ハ芥子かじを画たたるハ在安あや少引ひきられたるを  
 何の書ふ物とすもす也

一玉中より垢物を神代の旧物ハ曲玉まがたまとすもの有り喜玉あやたまとす作り  
 形豆莢まめのかさの如く。ももの方小穴有。六小一様いっしやうにす。神代乃衣裳かみかきの  
 飾也かざりとす。其玉小造こぞうも玉石いしと云ふも出雲いづも小造こぞうも山やま小造こぞう  
 咽神のどがみの社有。神代ハ在地あはれ小造こぞうと高たかし一人住ひとりと思おもはる

對馬國住吉神社御神寶曲玉圖  
 惣長サ三尺



続タル系ハ後世改メ貫タリ  
 然レトモ本ノ色ヲ喪セスト云

一竹の暖は小く寒は小く生ずは糸師庭室小極竹の生

根等西南小向。於小藩大隅の遠種く乃竹有り。三又五

又の竹。或ハ四角ある竹あり。最奇品なり。又糸師武井元

主家小存る竹の花生を奇品なり。其節斜小纏ふて連属

を螺のじし。於小竹理小斜あり。連清家熙公の御作の

御花生あり。一戎武井元主領せむもの云

一角倉氏の家来奥武吉右衛門家小大坂陣中。小和ハ竹の鉄

炮を室く。傳く。右右衛門先祖是戎紋。カ戦。物云

傳ふ。其製廻り一尺二三寸。緋の大竹を三四尺程小切。本

乃知小ハ松木。卷成付竹小。終の端六。戎入。巻。麻

糸。巻立紙。法下。掃法を引。傍小。口火の穴を

地小。石並て石。戎玉。て。紋法。もの。若。是。られ

て。珍。愛。もの。なり

一。字。活。摺。の。菊。造。り。某。塚。山。乃。菊。小。連。坐。る。山。く。を。又。色。を

宛。然。たる。荷。葉。皴。の。画。法。なり。或。く。所。小。より。山。の。皴。小

矣。ある。もの。なり

一。余。り。最。小。存。る。古。画。小。最。初。小。坊。々。同。亦。々。々。小。終。り。小。結

出来たり。思。物。月。戎。載。之。筆。を。經。て。後。漸。々。小。死

亦。又。々。々。今。少。々。々。古。珍。室。の。物。々。々。物。多。一。梅。窓。山

水。圓。あり。最。初。小。不。満。々。々。云。西。絶。の。物。々。々。秘。藏。す

書画ハ二幅を教日壁頭（まきづむ）小くけ並てよ〜〜（ま）意成（ま）又（ま）好く  
 後小淨（いさ）を多し事なり。數百幅の展覧（すひちやう）或ハ寺院（りやう）の虫拂又  
 右帳（みちやう）の何あど〜〜ハ去画乃（う）妖所（う）ハ見えが〜〜（し）初  
 命（まこと）し終（しま）て是ハ書画の〜小限（かぎ）と詩歌（し）めもか〜の〜。オ又  
 右面（みぎ）ふ〜〜年（とし）目（め）新（あらた）画（ゑ）ハ其（その）のよ（よ）物（もの）めてハ毎（まい）し  
 一（ひと）小思（こ）乃（の）ろ小去画（こ）をよ〜詩哥（し）小巧（せう）ある皆人乃（みな）称美（しょう）さる  
 事（こと）なれども多くハ年去（とし）して後何（のち）の勝（まさ）る事ハ毎（まい）くたれ  
 事（こと）のなり。オ又母或ハ他人（た）よりハ小思（こ）の事なれ〜形（かたち）承（う）継母  
 一（ひと）奇小思（き）の〜云（い）譽（ほ）る。有（あ）自然（しぜん）ハ小思（こ）此（こ）ハ油（あぶら）以（も）成（な）生（な）し  
 早（はや）是（こ）ハ世間（よ）ハ勝（まさ）きなり〜思（し）より後小思（のち）乃（の）平常（ひょうじょう）の人小

たり不及（お）せハ成（な）なり。オ又母（はは）ハ〜云（い）譽（ほ）る〜〜（ま）随（ま）分（ま）力（ちから）成（な）  
 後（のち）引（ひ）抜（ひ）群（ぐん）ハ勝（まさ）きた形（かたち）師（し）ハ從（ま）〜免（ま）を小思（こ）乃（の）公（こう）ハ仰（おほ）き  
 ルを師（し）ハ何（なに）もハ不及（お）せハ思（し）ハ〜ハ教（ま）後（のち）終（しま）り〜免（ま）と長  
 年（とし）の後（のち）あどハ人（ひと）ハ勝（まさ）き〜免（ま）や余（あま）も昔（むかし）ハ小思（こ）の奇才（きさい）成（な）終（しま）  
 免（ま）譽（ほ）〜ハ云（い）後（のち）ハ才（さい）あり〜ハ小思（こ）ハ從（ま）〜教（ま）訓（くん）成（な）加（か）くハ小思（こ）  
 免（ま）〜ハ大成（たいせい）せ〜免（ま）〜ハ希（ね）〜ハ云（い）外（ほか）ハ免（ま）願（ねん）の学問（がくもん）婦人（ふじん）  
 乃（の）書画（しやゑ）詩文（しぶん）い〜種（しゆ）ハ名（な）を〜ハ恐（おそ）〜ハ不足（ふそく）〜ハあり。オ又件具（けんぐ）  
 是（こ）の男子（なんし）乃（の）才藝（さいぎ）ハ此（こ）ハ片（かた）痛（いた）〜ハ不足（ふそく）〜ハあり。オ又件具（けんぐ）  
 一（ひと）條（じょう）ハ奢（あ）りの長（なが）〜ハ免（ま）餅（もち）の皮（かわ）成（な）〜ハ〜ハあり。オ又件具（けんぐ）  
 似（に）〜ハあり〜ハ新（あらた）〜ハ免（ま）餅（もち）成（な）〜ハ小餅（こもち）録（ろく）成（な）去（こ）〜

食ひしをも主人怒りて足下りて不飢とく餘成引名とく  
りも有り餘縁とハ餅のかし日を原く縁の喫たりたり  
所かりや

一 在蓋系洞翁豪邁の氣豪ハ世のゆを所かり。但文雅風流  
乃もろや也及もろもろ近た以人れ物語小系洞翁詩経  
の詩を題せり

一 河内う系やはさし鹿の毒をかり書也 皇らん子や思ふらん  
一 河内戲の依りたりとて。を傳雄渾近時の人乃及ふをくするの  
あくぞ。古乃作家とくも多くとほやとくも。歌なり。豪傑  
乃士天下の細事何もうけりらん

一室新助先生の和歌小忠臣無二心

一 歌なり。漢字の何事ゆよくをそ  
を傳ハ後世の恥も詞調の義理穩しく面ふくよ。漢おん  
せり歌なり。漢字の何事ゆよくをそ

一 薩摩大隅の田間は瘧疾を病む家粥を多く煮く其  
粥の汁を病兒は多く強 飲せしめ残の粥ハ家内の者  
食ひてなを餘りければちし飯となに只ひさそに  
く食せしむるを上策とて痘中ハ数斗の米を煮  
更あり只米を多く煮くを養生の 行とくき  
たりして富家ハ数斗は乃ふとく故小病人ハ互つて

飲食停滯の患ありて害を起しとる者あり又屋  
外ノ島徳の島大嶋辺ハ山産の家かあるに多く  
り火を焼く晝夜とも莫太の薪を集め只此  
ら火を多く焼く養生の第一とすハ富家ハ一七日  
の間ニ數百束の薪をたき尽し更あり如此して上逆  
の患多しハざるも不思議なり産倚鎮帯の更ハむ  
ありあしとふ

一自ハ西ノ東ニ後ハ人ハ亦ハ命ハ令ハ令ハ後ハ自ハ守リて後ハ  
人ハ守リ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。  
信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。  
信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。

信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。  
信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。  
信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。  
信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。

一素暁医を学ぶ者廿餘年医学小修ハ和漢古今ハ譲リを  
と竊ハ不ハ独ハり思フ。其他ノ技藝ハ兼ハ修リ。多ク端ハふリて学  
びテ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。  
功ハ足リ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。  
人の称美ハをハ修リ。虚ハハ知リ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。  
た公地ハ人ハ毀ル。悦ハハ知リ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。自ハ信シ。後ハ人ハ信シ。



或他人に拜するハトト稱せしむるハ一ツゴ思し  
と云ふれり思ひ腹立は公卿もたし是ハ云々安身立命  
一有る如く道義を合点するもくたゞ其の地位小ありハ  
空しく毀譽も各利ル公我礼するハ云々と思ひ。古乃聖  
賢ハ如此か云々

一明の萬曆天子より前田幸以法印を都督食事の宿小奉  
たす勅書或晋紳家小珍藏し或ハ一氏拜見せし小唐紙  
乃大なる中なる紙あり四邊小画揃あり手迹も云々成  
るなり外小字一ありぬ  
一人の利鈍賢愚を知之考へありと鳥獸の死するを解て

一いま後く見し吏の有し小牛の胃中ハ屠兒の方言ハ千  
枚と云ふものと蜂巢と云ふものあり蜂巢と云ふものハ蜂の巢の  
むく穴のつきたる皮膜のやうあるもの千枚と云ふハ皮  
膜を數十枚重ねてその皮膜鮫魚皮のむくむきハ尻  
のむくある物此二物ハ牛の草を食して胃中より  
件の蜂巢を一遍透して此草を化し再び千枚を透  
して細密に化し胃中の道具とかくの如く色くの取を  
敷遍透る故に生の草を食ふと云ふ能化して肛門より  
出るとき其細密にあり能化したる糞は馬ハ蜂巢  
千枚と云ふ物あり只廣腸と云ふもの有又芭蕉腸と云ふ名く

甚廣く大なる陽く此取子食せるものを數日留めて陽氣  
少く薰蒸し化して糞ふる故小馬糞ハ鞭くして疎  
なりされば牛るどい生草を食せざるや天より生せ  
めしもの若是小飯餅魚肉の類を食せしめハ  
粘着して件の蜂窠千枚通りをく胃中鬱滞し  
て死せざし人の腸胃のときハ只竹の筒のとくるれ  
ハ粘脂膏梁ふりざれば糲ひざし生草なるを  
食せし忽ち泻下して死せざし皆おのザしづの  
機開の仕つけハ格別なるもの  
一鯨の牙齒なるは一角小似たり西国北国の海に在る鯨魚

小ハ齒とふルのか一只紀州熊野浦より出る鯨ハ齒有  
鯨の中にてル品類の異なるべし  
一肥後の海中ハ早魚とふルの吻喙外ハ鮫の皮のどし  
質ハ甚廉角小似たり魚小有べき物と見へば是を  
以て見れば一角の魚吻なる変も知べし  
一醫者たるもの持べき書籍ハ經本草傷寒論の三部  
あり此三部ハ生涯讀べき書あり古今の医是を外おしてハ  
醫學とふ更おし扱餘財ハ何バ千金方貯へ持べし方  
を知ら便く手近くハ方輿西方選の二部を藏るもよし  
溫病論の一書ハ傷寒論の外傳とるべし仲景の意

を會しし取多し其外古今の医書汗牛充棟  
へ尺にべりば大うとい古今の抜書の如きものたま  
見解り書ゆづりよ古人の一斑をうかひ得り  
一遍ハ眼を觸るるよし讀ざるも亦妨るし

一利休の臨終仕りる我輩難給ぬ称羨せり  
乃ちあつども利休ハ卓然たる人物中々素人我以て  
た人ふりて利休の娘ハ下代わが方ぬ嫁ハ在り我輩  
を容色成す乃のあり右入をらるる我輩利休不承知  
一旦嫁ハ選せり女ハ君命をれごとく切らば且ハ本園  
乃御勢ハふりて町人を思ひ登たりと云きんハ惜し目前

乃富貴推勢成義乃為小頼る所大あまの氣象といふ

一細川毒女を以て風流仕ゆえし二代ハ引續た桑道具

ハ一流を成と絶あり或河清生氏細川乃桑道具ハ富

あハ成すもなき御道具持えたり何れの日もあつ

と物ハ今日ハ細川家に名物名作の武器鑑本刀

槍あふあるも飾を付て又せり此ハ蒲生誓た所を

せハ御桑具のありといふ細川答つて道具と云り

ハハ武多とていふハ桑具ハと安丸出事なりとて

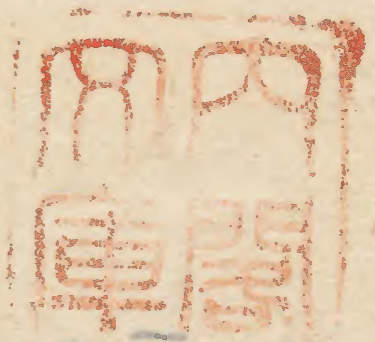
桑器数種又せりといふ是ハ皆人乃より作り傳へる

本業成志却せり樂々といふ淫せるといふハ近

ゆやまをくまに以て名をたれ人かたの勝る人かたを何  
の格詰ました人かたの大か吳折り。但神僧乃其味禪  
味同じしうそと海に馳せし如何とも思ひける  
一 謙遜なるハ阿愉の近し。慕道なるハ放蕩の似し。むし  
阿愉乃そそりて成りたるも人の謙遜なるかたし  
一 唐土秦の始皇帝の築しめし万里長城のわらわら割  
裂のものや。書籍ゆも季しふ見えど。人か同しと知るは  
一 無一。要害の威ふ程乃そのわれがたある物と思はる。数千里  
乃そおとほし存在をれと云ふまなるものと思はる。長城  
の東乃限り遼東の海中か出るも或書きたりたる書は又

一 子のありし東海に影を鉄成へし。長城乃根脚と  
し。築上りしうりも見えし。れむ清盛乃兵庫の築城の  
百倍した念の入りしなり。始皇帝の暴悪の天子か  
まうと長城ハ万世の利成真し。後世はみりて北狄の患  
ありと唐土ゆも稱せし文も見えし。今乃清朝ハ西  
て又北長城ハかちひく遼東より東北乃地数百里ハ  
城を築くは是れ新長城なり  
一 唐土赫連勃々城を築し。一。築地ハ云々文云々。錐を  
うて入るも一寸あり。其作りし人成斬しとぞ。まを後迄  
ハ残りしや。唐初ハ赫連臺をとりしと見えし

○土



清盛兵庫の築嶋の村潮ありて作り上る島成岩せしむ

作し一人成海中へ洗先殺せしむ。是れ人柱を入きしむ

りの侍り。莫小格別むつし。大ある普清成さる小。それ程

乃殘忍のり成小形以散委せられ成就しむ。かろる

一御所の御築地前方乃回祿の後御築地半ハ成きたりし

くも新小造り改えらきし。小を古た成を築地の築地を掃

小中く容易なり。む。堅くし。人変駭入り。更合の日在

方換矢せしむ。つし。り。洛西涼安寺の築地も云々

まありて。さ。作し。初土成。大登。ゆ。も。莫。を。土。成。造。の。二。ガ。リ

成。以。解。を。築。地。の。作。し。と。云。土。成。者。る。り。ハ。土。の。生。気。と

絶せの草木の生さる為なり。塩乃ニガリゆ。解ハ年々小土

堅より且ハ螻蛄蚯蚓の住居なり。が。た。為。なり。それゆゑ小と

小動石の。く。又。也

一近來葺村の雑踏才気秀抜を作皆人意の外ゆ。常い

動るる角丸のり。小。河。沿。に。人。天。竺。の。如。なり。画亦妙品。中。能

物。是。たる。山。水。わ。び。近。世。前。後。小。並。人。なり。存。生。の。る。さ。り。と

画名の。き。か。る。さ。り。ハ。雑。踏。小。掩。り。色。たる。と。其。の。眼。目。も。人

の。せ。ふ。た。れ。と。ふ。ふ。か。り。と

一嘯山の雑踏古遷と雑踏集の中乃最才一の撰なり。今人

織。登。小。若。して。月。蓮。小。五。抄。一。再。小。為。さ。る。ま。う。一。又。也。り

一 蝶か法師余き親しく交まりか。吾人尋常の郷き者し流りふとあり

と。氣き象しやう高かう遠えん且かつ和わ文ぶん乃の學がくも何なになり不ふ素そ肉にくなりす。和わ文ぶん亦また小せう

別べつ小せう一いつ俸ほう成せいして淡たん泊ぱく平へい穩えん小せう出したる小せう。自じ然ぜん小せう力りきやう量りやう何なにも

意い勿なより小せう文章ぶんがくの方かたを長ながとる小せう也なり

一 氣き師しの儒じゆも徳とくり小せう多たし。稍しやうもまれて金かね錢せん成せい會かい多た小せう也なりて

卑ひ劣りやく乃の情じやう多たし。田でん舎しゃ乃の儒じゆハ徳とくりの少せうえ多たく廉れん潔けつ乃の風ふう五ご

一 是こゝ月げつ中ちゆう也なり又また世よ人にんのり所しよ乃の論ろんなり。余あもかみこころなりと思おもひ

吾われが。年ねん歴れきてはげし。傍たがひより又また吾われも。田でん舎しゃの先せん生せい徳とくりの少せう

之こゝもあつが。後ご小せう氣き小せう移うつ王わう任にんし。二三年にさんねん成せいも歴れきると。しつと小せう

く金かね錢せんを會かい多たし。之こゝ來きたの氣き儒じゆより也なり。是こゝ氣き師しハ夜や食じき

のりも艱えん嶮けん少せうく油あぶら多たく。此こゝれど。飢きう渴かつも亦また小せう迫せまり多たく事ことも

然しかも難なん甚じんとる。吾われ小せう成せいるも速すみなる。れ雅が俗じやく貴き賤けんとも小せう氣き師し

乃の人にんと節せつ儉けんを身みり。緻ち細さい乃の利り成せいも積つみて糊こ口こうの多たくとる

之こゝ田でん舎しゃハ是こゝ小せう代だいり。任にん所しよく食じきとハ大だいく。能ぞ先せんより多たく事ことも

腹はらも割わり禁きんられど美みなる。我われ用もちふも不ふ及いた。緻ち細さいの利り成せい進しん不ふ及いたむ

がれハ亦また乃のげし。公こう乃のや。廉れん潔けつなる。吾われ小せう也なり。地ち

我われ替かへ氣き師しの儒じゆハ多たく。煎せん煉れん成せいる。れど田でん舎しゃハ勝かちる。し

一 今いまの麻あ上じやう下げハ大だい級きゆうの袖そで我われ切きる。多たく事ことも。羊じやう上じやう下げハ又またも

我われ切きる。多たく事ことも。右みぎ乃の人にん體たい小せう。垂たれ成せい着ちやくせ。ハいりある。製せいの垂たれ也なり

一近年世上の珍書或好む人多く、毎月の書小も希むるに  
ハ高價の求るにかり、それ故偽書亦多し其亦多く出  
るふかりぬ。寛政己年小ハ朝土よりも写本の珍書或後  
於りて後るざる。珍書ハ目錄より或後し高價ありて其  
後る者しと云ふやいしと云ふ。余も今目錄或るる、多くハ偽書  
と思ひ、往候中も天下才一の藏書家といふに至る庫中  
おた書ハ價然不倫しと求りも是も寛政己年ありふ  
まし。文徵明の甫田集只一帙のものや、本教小其た物  
或書林最初ハ銀十八分や、或たるが二百疋小或至一兩小かり  
三四五兩と賞賞しと。終小三十五兩より求むるに往候

つり唐人少くハ往前の鶴本氏ありと云書小或至一と云。是も  
家小たりた去ハ何ありも募る求む往西か、其人多た其格別珍  
奇かりぬ去も高價あり、舊れた唐書ありと近代年まで  
三四兩の價あり、五十金七十金ありと云。萬曆板乃十七  
史ありも二百金ありといふふかりぬ。其外毛奇書西河合  
集なり、小百金二百金と云。近代ハ罪書儀象志小儀象考成  
儀象考成或後る。字本あり、百金小求りむるに、何り。余  
十年終いふハ罪書儀象志乃板本或七兩二歩あり、人乃  
賞し或及たり、終乃年教小或珍奇乃書ハ人の争ひ求  
る事小なりと云。價ありかりし

一 伴蒿溪近年きんねん舟人傳ふねひとでん撰著せんしやく一々いちいち大の世おほよの行ゆき手熊てくま海棠たうかい又

舟人傳ふねひとでん後編ごへん成草なりくさ一々いちいち不畢ふひつ一々いちいち死し一々いちいち遺言いごん示し蒿

溪小成就せいじゆせんせん一々いちいち我教われがう一々いちいち一々いちいち蒿溪こうせき一々いちいち是戎しじゆ終飾しゆうしやく一々いちいち世

小弘ここうむ。此書このしよの一々いちいち一々いちいち近世きんせいの人物ぶつもの不朽ふくしゆ一々いちいち一々いちいち一々いちいち

一 尚なほと系師けいし地下ちか乃なほ和歌わが四天王しやうてんわうと世よ稱なづ一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち

蒿溪こうせき一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち

一 先達せんたつなりなり一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち

一 歌うたの上のうへ一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち

一 漢字かんじ一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち

一 一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち

一 澄月ていげつハ一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち

一 能家のうけの大地おほち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち

一 乃なほ一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち

一 法はふ行ぎやう懈怠けたい一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち

一 又また一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち

一 編へん經きやう學がく同どう一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち

一 春はる所ところのの一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち

一 一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち一々いちいち



もつろしは是東方しと叱らき多る哉。澄月傍小使居る、住持  
の和尚小向人。只との御是尺とていつと仙居くく、是人の某が如  
もまゝ起れたるも寐も中々字間然きしとい。天下乃言徳と  
も仰くき、亦生を海愛さる。能成なりと志し、修るあり  
くのづゝ出精しと終ふけ、寺程乃任職さる。能成なりと志し、  
意かたふふいしといふ。和尚學たて海におこの者なりとくち  
笑ひてしと多きぬ。それより澄月思ふ事、進もりる俗僧小住  
い居ては志ハ違さる。ついでに系部比叡山ハ天台の本山  
少く、碩サレク言徳の僧も多る。いづれや登るんとて玉體の赤  
然カハハ如奔しと。十三の年初て叡山小使多し。路金ふると困

窮甚し能ふを上知る人もなく、吾合の吾居人もあはれハ、叡山の  
寺く一定、此も終さる。吾えは師匠或ハ俗縁親類の形の上小  
多き、能ふしとて進物、行布た方なく、吾るふ子文、吾成りれを  
難我志しとく、下社の男又いひて、いさ小一宿せり、あゝ男の親  
し、能成なりとく、能く山上下あるり、吾ハわらぬ。能後善く言  
徳碩字の僧、我求るも、思ひしより、人かきしとく。本山の裏へ  
宗門の志ふあり、我歎息して、終小風流の道、小流を教人  
と、能成なりとく、  
一法候の玉、我励と野卑ある、上小、能入也、いづと導た、教と  
いの中、い成なり。一旦文弱、風行き、能為の風俗、小流

きく國ハ富強兵の術施一が

一 漢小下子ハ推てまへり。城小下賤のもの成侍ハ

法より法より西路ハ侍下。柳ありも法外ハ慈惠成絶せ

む必付上りて後ハ罪せられハまへり。中ハ成る者なり。柳の

恩恵及て成りて成りて多し。上り人ハ得て下侍乃者ハ罪小

端ハぬ中ハふさふさなり。水泉の夷狄を御さるも亦くの如

くなりし

一 宋の沈存中が漢書論ハ官者陰莖あり故ハ鬚生ぜば女

子ハ陰エなき故ハ鬚なし是男子ハ腎氣外ハのぐりて鬚

と陰毛生ハ鬚と陰毛ハ腎氣の生る取ありと云ハ沈存中

ハ東坡なぐ同トく儒おして医のよを言とを好く候

水練の往く其論ハとるふたゞ然れとも陰莖をきればハハ

絶るものや今日日本ハ官者なき故ハ其更をきればこれ

等ハ医理の一の考ハ備ふべき更ありき

一 不推和尙ハ道德の信なり。又詩奇ハ巧なり。身享保前後

ハ生色海肉セ子體乃詩成珍重なる時ハハハ時好成不返

吾思ハ不戒信里所くきし今ハハ侍ル新成又人の子室を

不推和尙ハ信乃詩の上にある。不朝萬菴等ハ詩人の衣志

たるなりしむの件なり

たるなりしむの件なり

一 源軍の去政十人ハ表中郎の侍集求め二十遍をくく讀  
 て燒きく。その後ハ一生詩集成んを志す。詩を不待成作れしを  
 一 南郭氏近世の詩乃上手なりと誰人も稱し。論定まり  
 余先年文集成一後せし。報凡の氣なく風流の類小多し。只  
 毎難小佐主好し。と云ふよりなり。小見堂の作至あ。小本  
 とるるにハし。詩の上もく。ひさかたありし。

一 平漁海の七言絶句。玉澄泊り。遠靄あり。余玉是成。莫是  
 一 醫書の文。傷寒論ハ平穩小く。力あり。奇妙の作。儒者乃中。小  
 牙比稀あり。身間の文ハ玉石混雜せり。然も。其全集他乃  
 医書乃乃。ふ。小。何。後。拔。群。小。勝。是。たり。是。成。續。む。他。の。儒。者。を

不讀とも。つ。の。なる。文章。少。も。書。事。自由。なり。其。外。後。世。乃  
 医書と。弘。漢。も。小。云。不。文。なる。もの。あり。文章。の。手。本。なり。小。成  
 ものなり。本邦の医書ハ。け。く。文。府。不。文。なり。但。賀。川。子。云。の。唐  
 論。畑。抑。安。の。園。学。院。学。範。の。二。書。目。文章。至。佳。也。本邦。医。書。中  
 の。才。一。の。文章。と。も。多。し。其。外。乃。医。書。ハ。唐。土。を。く。ハ。後。一。か。し  
 一 本邦の画像。人物。類。あり。小。名。多。し。く。も。多。し。也。小。古。昔  
 小。画。多。し。小。火。ら。く。く。り。く。ふ。の。の。ある。事。少。や。今。の。業。絶。て。る。も。し  
 かね。に。殘。念。の。事。少。て。く。り。く。ふ。但。金。園。室。間。の。二。画。希。小。佛。画  
 小。殘。也。然。も。多。く。く。り。く。ふ。巧。拙。成。論。多。く。事。終。り。也。其。後  
 遺。小。水。小。書。池。相。藝。の。阿。弥。佛。明。兆。の。画。名。何。り。を。存

延利氏乃末小狩野先信也。馬遠、画風、法、と、引、續  
れ、狩野氏代、と、風、成、り、遂、小、家、成、を、是、終、小、二、百、年、許  
け、の、事、なり。平佐の家、と、い、も、中、真、ハ、狩野氏、の、家、ほ  
ふ、是、亦、一、家、成、成、で、り。雪舟ハ、新、人、の、画、風、成、学、り、と、雲、谷、教、  
代、一、家、成、成、を、然、も、格、お、ち、る、事、に、行、た、れ、ど、南、邦、小、画  
乃、成、不、なり、と、慥、小、又、と、論、を、断、た、二、百、年、ど、の、よ、ぢ、り  
南、土、乃、画、及、て、新、新、の、画、も、多、く、本、邦、小、傳、り、今、よ、又、り、成  
も、好、る、り、煙、臺、と、晴、の、読、も、似、る、あ、や  
一、本、邦、の、画、變、狩、野、一、家、成、成、を、探、幽、又、別、小、一、家、成、成、を、して、狩、野  
古、代、乃、風、小、變、り、と、不、あ、り、探、幽、の、風、なり。平佐一、家、雪、舟、一

家、を、外、ハ、相、阿、弥、地、足、赤、蓮、各、方、一、は、画、風、矣、あり、近、世、百、川  
也、く、明、人、の、画、風、成、法、と、是、より、唐、画、と、り、名、目、也、あ、り、和、画、唐  
画、の、二、道、と、成、り、雪、溪、款、山、玉、壻、の、徒、ハ、唐、和、の、間、成、画、と、り、之  
を、及、定、紫、石、續、善、鑑、范、古、熊、曼、木、雅、堂、善、村、雪、亭、梅、志、蒲、白、  
俊、明、柳、里、恭、和、南、海、林、蘭、苑、富、翁、圃、淺、園、南、乃、案、皆、所、繒、唐  
画、也、く、各、一、家、の、風、なり、今、ハ、皆、古、人、と、成、せ、り、然、も、も、を、画、去、多  
く、世、人、の、よ、く、知、る、所、なり、是、より、狩、野、平、佐、を、と、り、和、画、家、大、に、衰、へ  
て、あ、り、希、有、り、を、後、焦、萃、也、く、画、風、又、一、變、り、近、來、唐、画、家、小  
和、画、家、も、皆、を、風、味、成、自、然、小、傳、り、招、不、成、り、り、尚、と、乃、画  
家、ハ、不、文、晁、董、九、如、僧、月、仙、僧、玉、麟、月、溪、岸、駒、在、中、又、子、茅

雲。香。卿。音。指。嶺。源。琦。納。吉。東。列。竹。堂。南。岳。僧。維。明。蒲。湖。春。敬。芝。  
 山。南。山。豐。秀。義。童。應。瑞。應。受。久。鳴。素。絢。白。猷。義。篤。夙。夜。探。索。  
 矣。索。道。春。甫。五。岳。春。岳。熊。岳。杏。堂。武。禪。南。川。愛。石。周。山。方。  
 中。奉。時。祖。仙。采。山人。素。嗣。繁。の。案。三。都。乃。以。候。亦。乃。画。家。致。  
 百。千。家。指。我。屋。さ。ふ。い。あ。り。と。近。時。ふ。り。り。画。家。最。盛。く。  
 たり。也。

北窓瑣談後編卷之三終



山

